

人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
四條畷市	下田原	令和5年2月17日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	29.5ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29.5ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	17.8ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	6.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	23.0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

アンケート結果から、後継者がいるものの就農しない予定又は、後継者がいないと回答した人が約4割で、就農が未定と回答した人を含めると約8割にのぼり、次世代の耕作者が激減する可能性が高く、担い手の確保が必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を活用し、地域農業者で設立される法人などの認定農業者が中心経営体となり農地利用を担う

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
到達	下田原ファーム合同会社	水稲、麦、小菊	0 ha	水稲、麦、小菊	23.0 ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	1人		0 ha		23.0 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>基盤整備への取組方針 農業の生産効率の向上を図るため、農地の区画整理や農道・水路の整備などの基盤整備に取り組む。</p>
<p>新規作物の導入方針 小麦の生産、販路開拓に取り組む。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 柵・箱わなの設置、ICT機器の活用等防止対策の強化に取り組む。</p>
<p>ICTを活用した営農環境改善の取組方針 ドローンによる農薬・肥料散布、自動草刈り機などICT機器を活用し農作業の省力化を図り、営農環境の改善に取り組む。</p>